

平成23年度高齢者等居住安定化推進事業の公募概要

高齢者・障害者・子育て世帯居住安定化推進事業

A 一般部門 ～ 評価委員会による個別審査・評価 ～ (p. 4)

- ・個々の提案内容について評価委員会により評価

ハード・ソフトにおいて先導性の高い提案

- ・先導性の高い高齢者・障害者・子育て世帯向け住まいの整備
- ・協働型居住の試み
- ・高齢者・障害者・子育て世帯の住まいに関する情報提供・相談
- ・障害者世帯・子育て世帯の居住の安定確保に資する取り組み

B 特定部門 ～ 評価委員会による包括評価 ～

- ・個別内容について要件との適合を審査の上評価委員会に諮る

B-1 ケア連携型バリアフリー改修体制整備事業 (p. 18)

ケアの専門家と設計者・施工者の連携体制により行われるバリアフリー改修及び体制整備

B-2 公的賃貸住宅団地地域福祉拠点化事業 (p. 25)

公的賃貸住宅団地の福祉拠点化に資する高齢者生活支援・障害者支援・子育て支援施設の整備

上記のほか、地方公共団体の認定等を受けている場合、事務局の個別審査による次の事業がある。

- ・高齢者向け優良賃貸住宅と高齢者生活支援施設の一体的な整備事業 <経過措置> (p. 33)
- ・地方公共団体の計画に位置付けられた高齢者生活支援施設等 (p. 25)

※ サービス付き高齢者向け住宅整備事業については、別途公募予定。

3

一般部門の概要

<概要>

- ・高齢者・障害者・子育て世帯にかかる居住の安定を推進・支援するプロジェクトのうち、ハード・ソフト面で先導性が高いものを対象とする。
- ・内容について個々に評価委員会の評価を受け、その結果に基づいて国が選定するプロジェクトに対して助成

<補助率等>

○建築工事費等

- ・住宅及び高齢者の交流施設等の整備費(補助率:新築等1/10、改修2/3)
- ・設計費(補助率:2/3)

○技術の検証費

- ・居住者実験、社会実験等の技術の検証に要する費用(補助率:2/3)

○情報提供及び普及費

- ・選定提案に係る情報提供及び普及に要する費用等(補助率2/3)

4

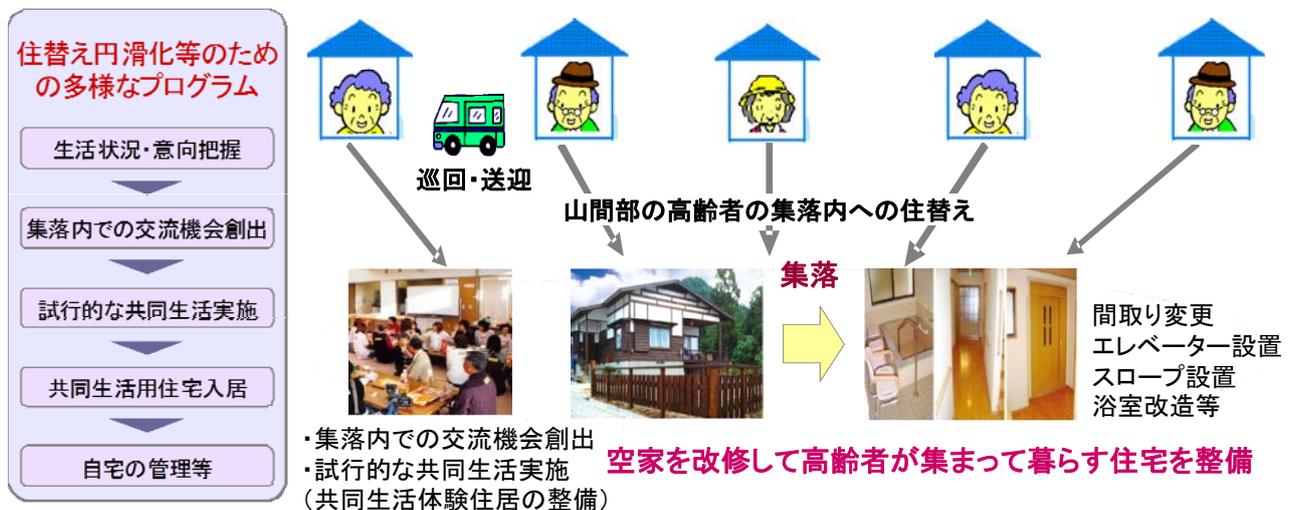
<評価の視点の例>

- 先導性の高い高齢者、障害者及び子育て世帯向けの住まいの新築・改築
- 高齢者、障害者又は子育て世帯を含む協働型居住の試み
- 高齢者、障害者又は子育て世帯への安心・見守りサービスの提供
- 高齢者、障害者又は子育て世帯の住まいに関する情報提供・相談業務
- 障害者世帯・子育て世帯の居住の安定確保に資する取り組み

提案のイメージ①

高齢者の居住に関する地域固有の課題の解決を図るための取り組み

高齢者の集住の誘導によるサービスの効率化・きめ細かなサービス提供



助成対象

住替え円滑化等のためのプログラム策定・実施に必要な経費(補助率2/3)
空家の改修費(補助率2/3)等

※介護保険に係る事業は対象外

平成21年度高齢者居住安定化モデル事業 選定事業

高齢者居住安心ネット金ヶ崎

医療法人社団 創生会

■事業実施箇所 岩手県金ヶ崎地域

介護と医療の一環した地域的なサービス体制を構築。金ヶ崎駅前には要介護度2～要介護度3の高齢者を対象とするセンターハウスを新築し、集落内に自立～要介護度2の高齢者を対象としたサテライトハウスを改修して整備する。対象者の状態に合わせた住居と老健施設・病院との連携によるサービス体制を総合的に構築する事業。

駅前に

センターハウス

診療所、デイサービスを整備した高専賃を整備し、サービスの拠点とする。

（高専賃 1棟20戸
デイサービス
診療所）

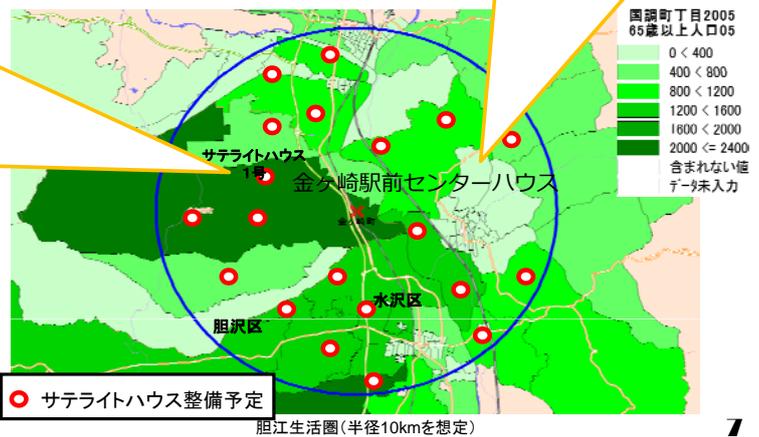


集落内に

サテライトハウス

地域の空家を改修し、高専賃として活用する。

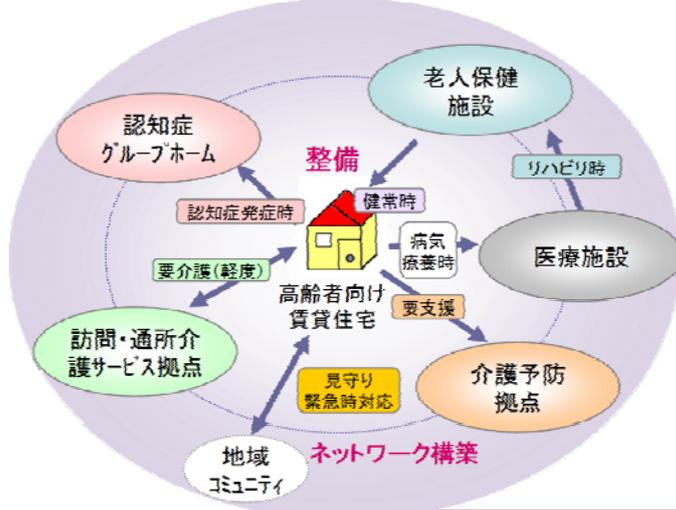
（高専賃
20棟/100戸）



提案のイメージ②

福祉施設、地域等との連携による高齢者が安心して暮らせる環境づくりのための取組み

高齢者がどのような心身の状況になっても(健常時、入院時、リハビリ時、要介護時等)、住み慣れた地域で安心して居住し続けることができる居住環境を整備



- ・施設や高齢者向け住宅の空室等の情報の共有・高齢者へのあっせんに関する取組み
- ・日常時の見守り体制や緊急時対応の体制整備 等

助成対象

高齢者向け賃貸住宅整備費(補助率1/10)
見守り等の連携体制整備に係る経費(補助率2/3)等 ※介護保険に係る事業は対象外

平成21年度高齢者居住安定化推進事業 選定事例

スープの冷めない距離での安心生活と地域共生ケア / 有限会社 親和会

介護事業者が、地域のケア拠点である自社の小規模多機能事業所から至近エリアにある空き家を改修し、近隣の医院や病院・在宅介護サービス事業者との連携体制を確保しつつ、高齢者の住まいを整備するもの。

■事業実施箇所 兵庫県相生市

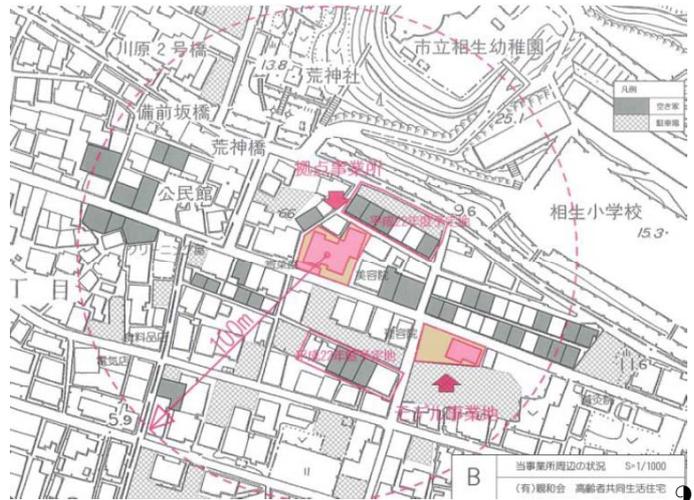
■事業実施年度 平成21年度



見学会を兼ねた地域イベントの様子



住宅地に位置する木造平屋建の居宅(5DK)の住宅を取得して、高齢者向け住宅への改修を実施。住宅の前庭を地域の交流広場として開放。



平成22年度高齢者等居住安定化推進事業 選定事例

泉北ほっとけないネットワーク・新近隣住区 / NPOすまいるセンター

まちづくり活動を行うNPOが、高齢化が進む大都市近郊大型団地において、空き店舗・住戸を改修し、サポート付き住宅と地域住民も対象とする配食センター・24時間支援センターを整備する。情報端末等を用いて、地域のネットワーク化を図り、生活支援サービス等の検証を行う。

■事業予定地 大阪府堺市南区槇塚台校区

■予定事業期間 平成22年度～平成24年度

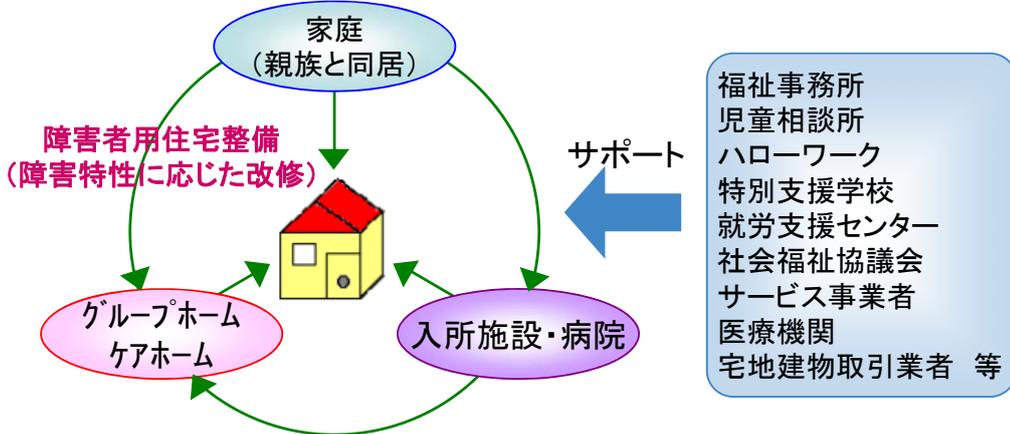


提案イメージ③

福祉施設、地域等との連携による障害者が安心して暮らせる環境づくりのための取組み

障害者が自らの希望により、慣れ親しんだ地域の民間の賃貸住宅等において、十分な介助等の支援を受けつつ、地域社会の一員として自立した生活を送れるよう、地域の関係機関等によるネットワークの整備を図る。

障害者の生活を支える地域のネットワークづくり



助成対象
 障害者用住宅整備(改修)費(補助率2/3)
 生活・就労相談、見守り、緊急時対応等に係る社会実験費(補助率2/3)等

11

提案イメージ④

地域のシニア世代が参画する子育て・多世代交流の取組み

地域に住む子育てを終えたシニア世代が、空き店舗・空き家などのスペースを使って地域の子どもやその親に対して、ワークショップなどの子育て支援を実施し、子育てしやすい居住環境を整備

- ・シニア世代、子育て世帯双方の交流が進み、地域の活性化にも寄与
- ・住宅地内の未利用スペースを活かしたコミュニティミックスの促進



助成対象
 交流スペース整備費(補助率1/10)
 子育てに配慮した住宅への改修費(補助率2/3)等

12

平成22年度高齢者等居住安定化推進事業 選定事例

さまざまなものが「混ざって暮す」ミクスチャーハウス / ゴジカラ村役場株式会社

多世代賃貸住宅等運営する介護事業者が、大都市近郊市街地において、特養等実績を有する社会福祉法人等との共同提案として、単身・夫婦高齢者世帯、ファミリー世帯、若年単身世帯等の多世代を対象として一般賃貸住宅と高専賃をコーポラティブ&コレクティブ方式で建築し供給するもの。

■事業予定地 愛知県長久手町

高齢者専用賃貸住宅部

居室面積:25㎡
 設備:キッチン、浴室、洗面、トイレ、収納、緊急通報装置
 共有部:共有キッチン、共有リビング、共有浴室、共有トイレ
 仕様:全てバリアフリー構造、全室スプリンクラー完備

一般賃貸住宅部

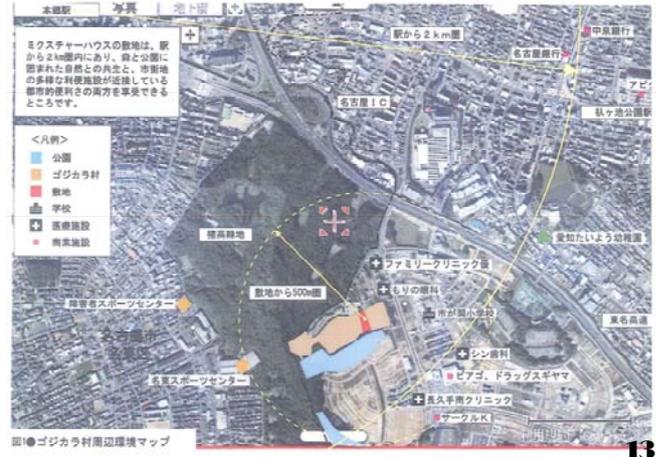
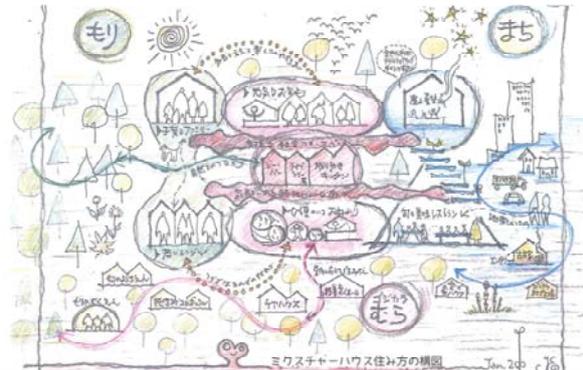
居室面積:25㎡~75㎡
 設備:キッチン、浴室、洗面、トイレ、収納
 仕様:全てバリアフリー構造、全室スプリンクラー完備

レストラン部

高齢者に対して食事を提供(一般入居者、施設部外者利用可能)

訪問介護事業部

建物内に訪問介護事業所を配置



13

平成22年度高齢者等居住安定化推進事業 選定事業

団地居住者が自ら参加できる「見守り・助け合い」・ 「生きがい」・「多世代交流」の拠点づくり

/ 滝山団地自治会

■事業予定地 東京都東久留米市

■事業概要

大都市近郊の大規模団地において、既存集会所を改修し、団地自治会が、見守り・助け合いの拠点整備を行い、配食による高齢者の見守り、寺子屋による子どもの見守り、多世代交流、助け合い活動による日常生活支援と社会参加の機会づくりにより、高齢化が進んだ大規模団地の住民自身による地域の活性化を図ろうとするもの。



14